

# オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

## 運用報告書(全体版)

第25期 (決算日2021年7月12日)

作成対象期間 (2020年7月14日～2021年7月12日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	1996年9月12日から2024年7月12日までです。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。
主な投資対象	トルコの企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税込分配金	騰落率	中期騰落率	中期騰落率	中期騰落率				
21期(2017年7月11日)	円 13,352	円 200	% 14.8	% 17.8	% 96.6	% -	% 1.9	百万円 3,379		
22期(2018年7月11日)	9,504	0	△28.8	△29.2	96.9	-	-	2,713		
23期(2019年7月11日)	8,268	0	△13.0	△17.3	94.3	-	-	2,162		
24期(2020年7月13日)	7,624	0	△7.8	△4.7	95.3	-	-	1,400		
25期(2021年7月12日)	8,336	0	9.3	△1.8	91.8	-	-	970		

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。
*参考指数（=BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

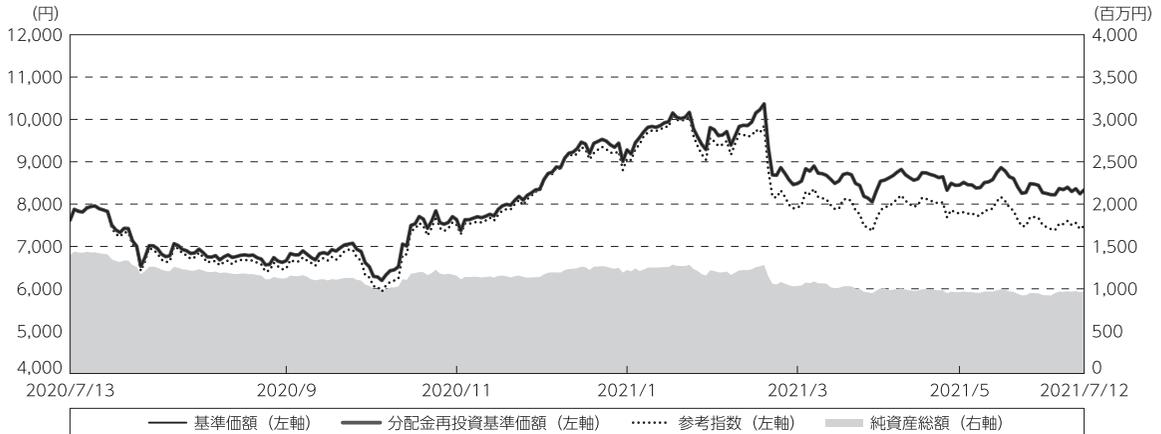
年月日	基準価額	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首) 2020年7月13日	円 7,624	% -	% -	% 95.3	% -	% -
7月末	7,330	△3.9	△5.1	96.0	-	-
8月末	6,854	△10.1	△11.5	91.5	-	-
9月末	6,662	△12.6	△15.0	91.5	-	-
10月末	6,278	△17.7	△20.7	90.7	-	-
11月末	7,634	0.1	△1.5	97.0	-	-
12月末	8,722	14.4	14.3	97.1	-	-
2021年1月末	9,281	21.7	19.0	97.4	-	-
2月末	9,411	23.4	20.3	96.2	-	-
3月末	8,486	11.3	3.9	90.5	-	-
4月末	8,566	12.4	4.0	90.9	-	-
5月末	8,448	10.8	2.0	93.2	-	-
6月末	8,222	7.8	△2.8	94.2	-	-
(期末) 2021年7月12日	8,336	9.3	△1.8	91.8	-	-

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：7,624円

期 末：8,336円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：9.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年7月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2020年7月13日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (下 落) 投資家によるトルコの経済政策や金融政策への不信が高まったこと、トルコ・リラが下落したこと、トルコや欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したこと、大手格付会社がトルコで国際収支危機が起きる可能性を警告したこと
- (上 昇) トルコ・リラ安を抑制できなかった中央銀行総裁と財務相の交代を受け、金融政策の正常化が期待されたこと、臨床試験で高い有効性を示した新型コロナウイルスのワクチン開発が発表されたこと、一部大手企業の堅調な2020年の業績や2021年の収益成長見通しが好感されたこと、トルコ・リラが対円で上昇（円安）したこと
- (下 落) 金融政策の正常化を貫いた中央銀行総裁が解任され、金融政策が再び過剰な金融緩和に転じる懸念が強まったこと、トルコ・リラが対円で下落（円高）したこと、エルドアン大統領とバイデン米大統領の首脳会談において両国間の関係改善への具体的な進展が見られなかったこと

## ○投資環境

トルコ株式市場は、期初、トルコ・リラの下落やトルコの経済政策への不信が高まったことなどから、下落して始まりました。その後、通貨安の恩恵を受けるとみられる一部の輸出株や素材株に加え、国内投資家による買いがみられた一部の中小型株が堅調に推移し、市場全体が持ち直しましたが、金融政策への不信や新型コロナウイルスの感染再拡大で再び下落に転じました。

2020年11月に入ると、トルコ・リラ安を抑制できなかった中央銀行総裁と財務相の交代を受けて、金融政策の正常化や、より持続可能な経済政策運営への期待から反発しました。また、欧米の大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表したことも好材料となりました。その後、金融政策の正常化期待に沿った政策金利の引き上げ、一部大手企業の堅調な2020年の業績や2021年の収益成長見通し、配当支払いに対する政府の制限措置が終了したことなどが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

しかし、2021年3月には利上げを継続的に行なった中央銀行総裁がエルドアン大統領に解任されたことを受けて、正常化しつつあった金融政策が再び過剰な金融緩和に転じる懸念が強まったことから急落しました。その後、トルコ・リラの軟調な推移、両国間の関係改善が期待されたエルドアン大統領とバイデン米大統領の首脳会談に具体的な進展が見られなかったこと、新型コロナウイルスの変異株のグローバルな感染拡大などが重石となりましたが、当期においてトルコ株式市場は、現地通貨ベースで見て大幅上昇となりました。

為替市場では、期初、政府系銀行によると推察される為替介入が見られなくなり、当局が自国通貨安防衛を断念したとの観測が広がったことを背景に、トルコ・リラは下落して始まりました。その後も、インフレ率の高まりや大手格付会社が同国の格付けを引き下げ、国際収支危機が起きる可能性を警告したことが重石となり、下落基調が続きました。2020年10月には下落が加速しましたが、11月に中央銀行総裁や財務相の人事を受けて、金融政策の正常化や大幅な利上げへの期待が高まったことで、トルコ・リラは反発しました。その後、実際に実施された利上げや新型コロナウイルスのワクチン接種への期待などが下支えとなりました。しかし、2021年3月には中央銀行総裁の解任を受けて、トルコ・リラは再び急落しました。その後も、米長期金利の上昇懸念や利下げを求めるようなエルドアン大統領の発言も嫌気され軟調な推移となり、当期においてトルコ・リラは対円で大幅に下落しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

原則として高位を維持するという運用方針に基づいて運用を行ない、組入比率はおおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 業種配分では、期初においては、一般消費財・サービス、生活必需品などをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、資本財・サービス、素材などをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、生活必需品、一般消費財・サービスなどをオーバーウェイトとし、素材、資本財・サービスなどをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄では、BIMビシュレジッキ・マーザラージ（食品・生活必需品小売り）、エレグリ・デミル・ベ・セリク・ファブリカラル（金属・鉱業）、コカコーラ・アイスセック（飲料）などを上位に組み入れました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が1.8%の下落となったのに対して、基準価額は9.3%の上昇となりました。

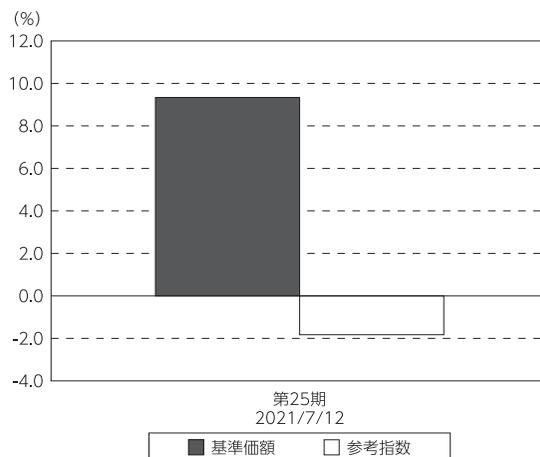
### （主なプラス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った一般消費財・サービスをオーバーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った自動車株や飲料株をオーバーウェイトとしたこと

### （主なマイナス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った素材をアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った食品・生活必需品小売り株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を上回った化学株をアンダーウェイトとしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案して、大変遺憾ながら今期の収益分配は見送らせていただきました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第25期
	2020年7月14日～ 2021年7月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,352

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

- (1) トルコ経済については、インフレ率の動向やトルコ・リラの軟調な推移を考慮すると、利下げができる状況ではないと考えていますが、足元では景気減速の兆しが出ており、利下げを求める政治的な圧力も高まっています。2021年3月に就任した中央銀行総裁は歴代の総裁と同様に景気回復を優先した利下げに踏み切るか、またはトルコ・リラの安定化を優先した金融引き締めを継続するか、との選択に迫られています。中央銀行が現状の引き締め策を継続または強化するか、緩和的金融政策への転換に向け布石を打つかを注視して行く方針です。
- (2) トルコ株式市場については、金融政策への不透明感によるトルコ・リラの不安定な動きが市場全体の重石になると見えています。トルコ・リラ安の恩恵を受ける一部の輸出企業には追い風ですが、市場全体での持続的な株価上昇には、トルコの金融政策への信頼回復が必要になると考えています。

### ・投資方針

業種配分では、安定した業績の改善が見込まれる生活必需品や中長期的なトルコの経済成長の恩恵を受けるとみられる一般消費財・サービスを引き続きオーバーウェイトとする方針です。

個別銘柄については、競争力のあるビジネスモデルや独自の成長要因を有し、中長期的に比較的安定した収益の成長が見込まれる銘柄に選別的に投資する考えです。

今後も基準価額の向上に努めて参りますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年7月14日～2021年7月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 177	% 2.216	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 85)	(1.064)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 83)	(1.042)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 9)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 5)	(0.059)	
(c) そ の 他 費 用	23	0.294	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 23)	(0.290)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	205	2.569	
期中の平均基準価額は、7,991円です。			

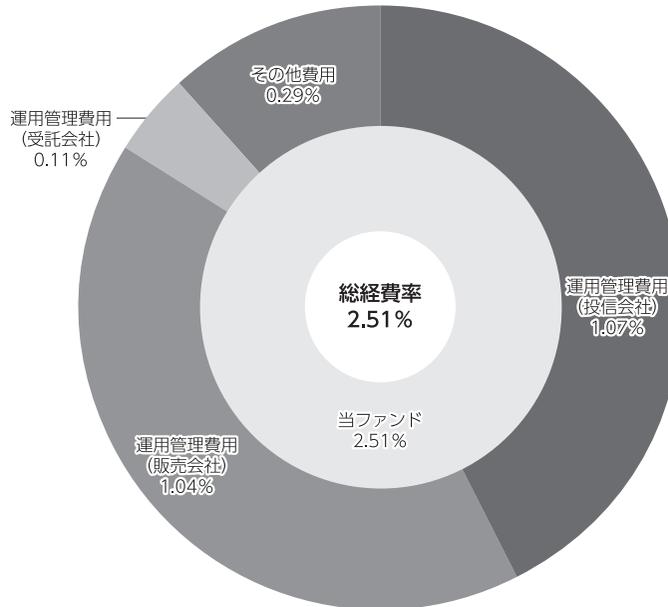
\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.51%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年7月14日～2021年7月12日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イギリス	百株 265	千英ポンド 17	百株 1,013	千英ポンド 50
	トルコ	22,929 ( 2,581)	千トルコリラ 21,634 ( -)	40,743	千トルコリラ 59,689

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2020年7月14日～2021年7月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,116,979千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,042,791千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.07

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年7月14日～2021年7月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年7月12日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円			
DP EURASIA NV	1,927	1,179	86	13,180			ホテル・レストラン・レジャー
小 計	株 数	金 額	86	13,180			
	銘柄 数 < 比 率 >		—	< 1.4% >			
(トルコ)			千トルコリラ				
AKBANK T. A. S	10,499	8,705	4,631	58,968			銀行
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	1,450	620	999	12,724			繊維・アパレル・贅沢品
AKSIGORTA	2,449	2,113	1,696	21,604			保険
ANADOLU ANONIM TURK SIGORTA	—	1,199	743	9,467			保険
ANADOLU HAYAT EMEKLILIK	1,279	741	651	8,293			保険
ARCELIK A. S	549	—	—	—			家庭用耐久財
ASELSAN ELEKTRONIK SANAYI	834	1,085	1,607	20,462			航空宇宙・防衛
AYGAZ AS	1,514	—	—	—			ガス
BRISA BRIDGESTONE SABANCI LASTIK SAN VE	1,484	—	—	—			自動車部品
CIMSA CIMENTO SANAYI VE TIC	—	311	709	9,034			建設資材
EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	4,620	4,350	7,852	99,985			金属・鉱業
FORD OTOMOTIVE SANAYI AS	695	286	5,000	63,664			自動車
INDEKS BILGISAYAR SIS TEMLERI MUHENDISLI	1,831	2,283	1,372	17,472			電子装置・機器・部品
KOC HLDGS	1,272	859	1,709	21,766			コンピュータ
KORDSA TEKNİK TEKSTİL A. S.	976	497	1,009	12,847			自動車部品
LOGO YAZILIM SANAYI VE TICAR	182	321	1,212	15,441			ソフトウェア
TURK SISE VE CAM FABRIKALARI AS	—	5,575	4,304	54,800			コンピュータ
TOFAS TURK OTOMOBİL FABRIKA	1,561	—	—	—			自動車
TURK TUBORG BIRA VE MALT SANAYII A. S.	969	—	—	—			飲料
TURK HAVA YOLLARI AO	1,215	987	1,339	17,055			旅客航空輸送業
TURK TRAKTOR VE ZIRAAT MAKIN	—	30	513	6,536			機械
TURKCELL İLETİŞİM HİZMET AS	4,932	1,302	2,087	26,576			無線通信サービス
TURKIYE GARANTI BANKASI	6,276	4,533	3,867	49,238			銀行
TURKIYE İS BANKASI AS-C	2,389	2,234	1,177	14,995			銀行
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFİNE	288	221	2,144	27,301			石油・ガス・消耗燃料
YAPI VE KREDİ BANKASI A. S.	10,067	9,333	2,127	27,093			銀行
HACI OMER SABANCI HOLDING	4,094	—	—	—			各種金融サービス
COCA-COLA İCECEK AS	1,163	799	6,394	81,422			飲料
BİM BİRLEŞİK MAĞAZALAR AS	1,521	1,411	8,927	113,669			食品・生活必需品小売り
VESTEL BEYAZ EŞYA SANAYI VE	697	467	2,137	27,221			家庭用耐久財
TAV HAVALİMANLARI HOLDING AS	355	544	1,370	17,444			運送インフラ
TEKFEN HOLDING AS	258	—	—	—			建設・土木
KOZA ALTIN İŞLETMELERİ AS	—	132	1,431	18,226			金属・鉱業
MİGROS TİCARET A. S	593	—	—	—			食品・生活必需品小売り
MAVİ GİYİM SANAYI VE TİCA-B	107	184	1,040	13,247			繊維・アパレル・贅沢品
AGESA HAYAT VE EMEKLİLİK AS	714	480	870	11,089			保険
小 計	株 数	金 額	68,930	877,652			
	銘柄 数 < 比 率 >		28	< 90.4% >			
合 計	株 数	金 額	52,794	890,833			
	銘柄 数 < 比 率 >		29	< 91.8% >			

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2021年7月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	890,833	90.6
コール・ローン等、その他	91,954	9.4
投資信託財産総額	982,787	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（894,062千円）の投資信託財産総額（982,787千円）に対する比率は91.0%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.17円、1英ポンド=153.11円、1トルコリラ=12.7324円、1ユーロ=130.82円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	982,787,990
コール・ローン等	91,954,371
株式(評価額)	890,833,619
(B) 負債	12,293,934
未払解約金	317,724
未払信託報酬	11,958,450
未払利息	61
その他未払費用	17,699
(C) 純資産総額(A-B)	970,494,056
元本	1,164,205,918
次期繰越損益金	△ 193,711,862
(D) 受益権総口数	1,164,205,918口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,336円

(注) 期首元本額は1,836,448,252円、期中追加設定元本額は169,366,255円、期中一部解約元本額は841,608,589円、1口当たり純資産額は0.8336円です。

## ○損益の状況 (2020年7月14日～2021年7月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	35,765,783
受取配当金	35,769,443
受取利息	802
支払利息	△ 4,462
(B) 有価証券売買損益	63,837,680
売買益	337,298,224
売買損	△273,460,544
(C) 信託報酬等	△ 28,478,065
(D) 当期損益金(A+B+C)	71,125,398
(E) 前期繰越損益金	△459,753,963
(F) 追加信託差損益金	194,916,703
(配当等相当額)	( 916,624,042)
(売買損益相当額)	(△721,707,339)
(G) 計(D+E+F)	△193,711,862
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△193,711,862
追加信託差損益金	194,916,703
(配当等相当額)	( 916,624,042)
(売買損益相当額)	(△721,707,339)
分準備積立金	55,767,686
繰越損益金	△444,396,251

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2020年7月14日～2021年7月12日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年7月14日～ 2021年7月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	25,539,310円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	916,624,042円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	30,228,376円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	972,391,728円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	8,352円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。